



病児保育は子育てファミリーの  
新しいライフラインです

NO.20  
2007年7月3日

## 報道関係者各位

東京都中央区新川2-5-1 PSA305  
特定非営利活動法人 フローレンス  
担当:中村 03 - 3206 - 2604  
info@florence.or.jp



# 日本初！行政と経済団体、NPOが連携し 中小企業にワークライフバランスコンサルティング！ ～全国に先駆け、中小企業における成功モデル創出に挑戦～

東京都品川区が、東京商工会議所品川支部と連携し、**中小企業のためのワークライフバランス・コンサルティング事業**をNPO法人フローレンス(東京都中央区・代表 駒崎弘樹)に委託することを決定した。

委託期間中、NPO法人フローレンスは、品川区内の中小企業2社にコンサルティングを行い、08年3月にフォーラムにて成果を報告する予定だ。第1社目のコンサルティング提供先は、**吉村紙業(株)**(東京都品川区・代表 橋本久美子)、2社目は10月頃決定予定である。

この取り組みに先駆けて、**2007年7月27日にワークライフバランスセミナーを開催する。**

### 【第1回キックオフセミナー開催概要】

日時: 7月27日(金)18:00開場、18:30開始

場所: 品川区中小企業センター

テーマ: 「中小企業だからこそできるワークライフバランス～業績を上げるための労働環境へ～」

登壇者: 株式会社クララオンライン 代表取締役社長 家本賢太郎 他

中小企業では資金や担い手が限られているため、ワークライフバランスへの取り組みが遅れている。この現状を打開すべくスタートする今回の品川区の取り組みは、**イギリスの「チャレンジ基金プログラム」をモデルとしている**。イギリスでは、企業が外部コンサルタントを用いて両立支援策を導入する場合、政府が費用を全額負担するというプログラムを実施している。また、両立支援策導入の成功事例を集め、他企業への情報提供も行っている。

これにより、「**ビジネスに好影響をもたらす事例が増え、企業はワークライフバランスに積極的に取り組むようになる**」という**好循環**が生まれているのだ。

「**品川版チャレンジ基金プログラム**」ともいえる今回の取り組みを契機に、日本の自治体によるワークライフバランスに関する取り組みが広まっていくことが強く期待される。

### ワーク・ライフ・バランスとは？

1990年代初期アメリカで始まった取り組みで、「**仕事と私生活のベストバランスが両者に相乗効果を生むこと**」をいいます。労働人口が減少するといわれている中、国内中小ベンチャー企業も、ワーク・ライフ・バランスに取り組まなければ、生産性向上を図れない時代にあるのです。

特定非営利活動法人フローレンス

<http://www.florence.or.jp>